

13:12:08 From Yoshiko Saito-Abbott: Please complete the evaluation form after the webinar:

<https://forms.gle/JtiGdAjWtTP69cZD9>

13:13:12 From Lena Kelly: Email: lena_kelly@jflalc.org

anime expo lite: <https://lite.anime-expo.org/>

stage beyond borders: <https://stagebb.jpf.go.jp/stage/>

13:43:06 From Yoshiko Saito-Abbott: 質問を chat にお書きください。英語でも日本語でもいいです。

13:48:30 From Asako Hayashi: Deletion Quiz は CANVAS のクイズで作成されましたか。

13:48:53 From yuki hamochi: Q: Nearpod の VR tour の行きたい場所は先生側の設定でしか選べないと思うのですが、学生側でも選べるのでしょうか。その場合、どうやってやるかご教授いただけますと幸いです。

13:52:29 From Elena Yoo: Q: Kanji Quiz Generator は一般公開になりますか？

13:56:06 From Ryan Lidster: Canvas で "Multiple Dropdowns" という機能を使えば似たものが作れます。残念ながら、Blackboard ではなかなか難しいかと思います。

13:56:50 From Atsuko Frederick to Everyone : Deletion Quiz につかった Software MIT で独自に開発されたもので Public ではそのようなものはないということでしょうか。

13:59:37 From Ryan Lidster: 読解とは何かについてのコメントですが、いくつかの異なっているスキルに分けて考えることもできると思います。

a) 時限なしで、ご自宅などで辞書や教材を使いながら一文一文の意味を理解する力。

b) F2F でその場で自力で流暢に読む力。（例えば町を歩いている時に見かける看板など）

c) 文や出てくる単語の意味だけではなく、その裏の意味やテーマなど分析・解釈する力。

Asynchronous で査定できる力と Synchronous でしか査定できない力、両方あるんじゃないかと思います。どれがどのレベル、どの授業に当てはまるかはカリキュラム次第でしょうが、それほど詳しく決まっていない場合が多い印象です。

14:01:58 From Ayako Anderson: デジタル化の学習が進むと学生による online dictionary/translator の使用が問題になってくると思われます。使用禁止する、使用できないような設問の仕方をするなどいろいろな対応の仕方があると思いますが、現実的に考えて、これからの外国語コミュニケーションの場（旅行先、仕事など）では online dictionary と共存していかなければならないよう気もします。単語を覚えているか否か、ではなく、調べた単語が適切に使えるか、ということに注意を向けなければならぬと思います。相川先生は online dictionary/translator についてどのような指示をされていますか。また、これからどうなっていくと考えていらっしゃいますか。

14:06:30 From Yoshiko Saito-Abbott: Link to evaluation:

<https://forms.gle/JtiGdAjWtTP69cZD9>

14:17:55 From yuki hamochi: やはり生徒側で検索かけられないですね。先生側がいくつか選んでおいたほうがいいですね。

14:18:53 From Lena Kelly: e-learning resources: <https://www.marugoto.org/e-learning/marugoto> +: <https://marugotoweb.jp/ja/index.php>

14:19:51 From Asako Hayashi: Student でアカウントを作ってしまうと、検索ができないと子供が言っているのですが. . .

14:21:07 From Mikiko Korn to Everyone : Nearpod を使って教えるとき一番効果的なコンテンツは何でしょうか。

14:26:07 From Ryoko Ohnishi to Everyone : ちょうど、どんな場面で使えるか色々考えていました。

14:26:15 From Hisae Kobayashi (she/her) to Everyone : 大学の方針で、オンラインが難しい場合もあると思います。

14:26:21 From Kumiko Nakamura: 学生によってデジタル環境に差が生まれないことが確認できれば、ズームでなければできないこともありそうなので、続けてみたい気持ちはあります。

14:27:03 From Yukiko Asano: パンデミックが終わった後、学生側にテクノロジーのサポートがでるかどうかによって、F2F の環境で Synchronous を続けられるかどうか変わってくるんじゃないでしょうか。

14:27:40 From Kazuko Saito: 必要だと思うのですが、学校からデバイスを借りていた学生たちがアクセスできる環境が今まで通り整うのかが問題だと思います。

14:28:57 From Miwako Ichikawa to Everyone : Three Pillar Hybrid でやりたいです！でも、大学から F2F にしなければいけないと言われました。